

レディーミクストコンクリート 一部改正について

JISA5308:2011

山口県生コンクリート工業組合

河野 博幸

H24.8.22

1

レディーミクストコンクリート(追補1)

平成23年12月20日 改正

JISA5308:2009の一部が置き換えられた。



併用

JISA5308:2009 レディーミクストコンクリート
JISA5308:2011 レディーミクストコンクリート
(追補1)

2

改正の経緯

- 運搬時間の解釈について：
施工者，生産者などから質問が多かった。
- スラッジ固形分率の管理について：
生産者，JIS登録認証機関などで解釈の相違があった。
- 利用可能な副産物をリサイクル材として使用：
国家レベルで推奨されている。

3

改正内容

4

2 引用規格

改正

.....。

これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版(追補を含む。)は適用しない。西暦年の付記のない引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

付記

例： ミキサは、JISA8603:1994に適合するものでなければならない。

5

8.1.3 ミキサ

改正

a) ミキサは、固定ミキサとし、JISA8603:1994に適合するものでなければならない。ただし、公称容量がJISA8603:1994の表1(ミキサの種類及び公称容量)に規定する値に適合しないミキサの場合は、JISA8603:1994の4.(性能)に適合することが確認されたものを用いる。

ミキサは、JISA8603:2010ではなく、JISA8603:1994の引用とした。

6

8.4 運搬

1.適用範囲:この規格は、荷卸し地点まで配達されるレディーミクストコンクリートについて規定する。

7

(旧) 8.4運搬

練混ぜを開始してから1.5時間以内に荷卸しが
できるように、運搬しなければならない。

- ↓
- ・荷卸し作業を含める？
 - ・土木・建築では打込み終了

運搬工程に荷卸し完了を含めているのでは？

(解釈の相違) ↓

運搬時間の明確化が求められていた。

8

8.4 運搬

改正

b) レディーミクストコンクリートの運搬時間は、生産者が練混ぜを開始してから運搬車が荷卸し地点に到着するまでの時間とし、その時間は1.5時間以内とする。ただし、購入者と協議のうえ、運搬時間の限度を変更することができる。

運搬時間を明確にした。

運搬時間の確認：
納入書の「着時刻」と「発時刻」の差

9

例

表 10-レディーミクストコンクリート納入書

(平成 22 年 4 月 1 日から適用)

レディーミクストコンクリート納入書

No.

運搬時間: 「着時刻」と「発時刻」の差 平成 年 月 日

殿

製造会社名・工場名

納入場所		運搬車番号		No.	
納入時刻		発着		平成 年 月 日	
10 時 00 分		10 時 30 分			
納入容量		積		累計	
m ³		m ³		m ³	
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランブ又はスランブフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
配合表 ^{a)} kg/m ³					
セメント	混和材	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③
水セメント比	%	水結合材比 ^{b)}	%	細骨材率	%
				スラッジ固形分率	%
備考 配合の種類: <input type="checkbox"/> 標準配合 <input type="checkbox"/> 修正標準配合 <input type="checkbox"/> 計量読取記録から算出した単位量					
<input type="checkbox"/> 計量印字記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/> 計量印字記録から自動算出した単位量					
荷受職員認印			出荷係認印		

土木・建築における運搬時間

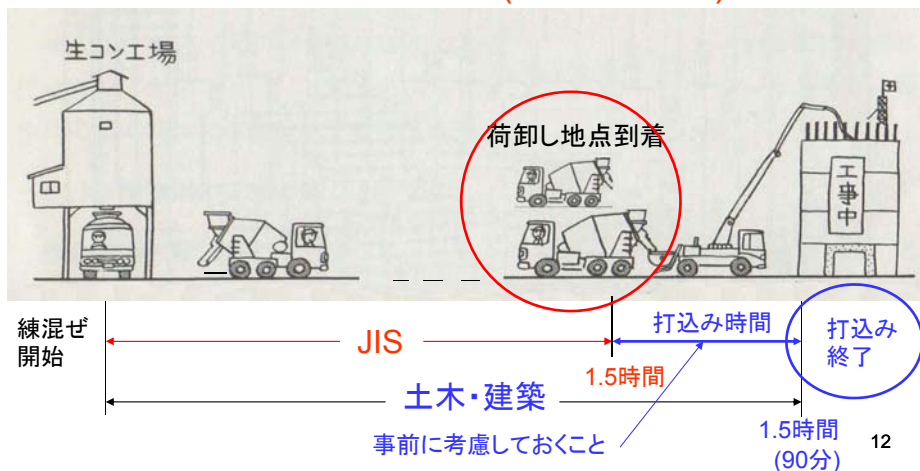
- ・コンクリート標準示方書:2007
「練混ぜてから打ち終わるまでの時間」
外気温が25°C以下のときで2時間以内
外気温が25°Cを超えるときは1.5時間以内
- ・ JASS 5 鉄筋コンクリート工事:2009
「練混ぜから打込み終了までの時間の限度」
外気温が25°C未満のときは120分
外気温が25°C以上のときは90分

いずれも打込み終了まで

11

運搬時間の管理

- ・ 土木施工者 : 標準示方書(25°C超 →1.5時間以内)
- ・ 建築施工者 : JASS 5 (25°C以上→90分以内)
- ・ 生コン生産者: JISA5308 (1.5時間以内)



12.2 レディーミクストコンクリート納入書

改正

……。また、生産者は表10Aに示すリサイクル材を用いている場合には、図1に示すように、JISQ14021に規定するメビウスループを、使用材料名の記号及びその含有量を付記して、12.2の表10(レディーミクストコンクリート納入書)に規定する納入書に表示することができる。

メビウスループ



工場の判断による

13

表10Aーリサイクル材

使用材料名	記号
エコセメント	E(又はEC)
高炉スラグ骨材	BFG又はBFS ※
フェロニッケルスラグ骨材	FNS ※
銅スラグ骨材	CUS ※
電気炉酸化スラグ骨材	EFG又はEFS ※
再生骨材H	RHG又はRHS ※
上澄水	RW1
スラッジ水	RW2
フライアッシュ	FA I 又はFA II



RW1(100%)

図1

品名及び含有量の表示方法の例
(上澄水100%)

※末尾のGは粗骨材、Sは細骨材を示す。

14

附属書C

(レディーミクスコンクリートの
練混ぜに用いる水)

15

スラッジ水とは

- スラッジ水:コンクリートの洗浄排水から, 粗骨材, 細骨材を取り除いて, 回収した懸濁水。
- スラッジ固形分:スラッジ水を105~110°Cで乾燥して得られたもの。
- スラッジ固形分率:レディーミクスコンクリートの配合における, 単位セメント量に対するスラッジ固形分の質量の割合を分率で表したもの。

16

C.6.2 スラッジ固形分率の限度

- a) スラッジ水を用いる場合、スラッジ固形分率が3%を超えてはならない。スラッジ固形分は水の質量に含めない。

改正 (追加)

- b) スラッジ固形分率を1%未満で使用する場合には、配合計画書の目標スラッジ固形分率の欄に“1%未満”と記載する。なお、スラッジ固形分を水の質量に含めてもよい。

工場の判断による。

17

まとめ

- 運搬時間の明確化: 生産者が練混ぜを開始してから運搬車が荷卸し地点に到着するまでの時間とし、その時間は1.5時間以内とする。
- スラッジ固形分率を1%未満で使用する場合: 配合計画書の目標スラッジ固形分率の欄に“1%未満”と記載する。なお、スラッジ固形分を水の質量に含めてもよい。
- リサイクル材の使用: 生産者がリサイクル材を用いている場合、納入書にメビウスループを表示することができる。

<end> 18